

肥満指導を受けた幼児の生活調査
—京都市内保育園児と幼稚園児との比較—
(分担研究：小児期の成人病危険因子の
実態把握に関する研究)

衣笠昭彦* 衣笠紀玖子**

要約：これまで2年間の研究から、幼児期の肥満の予後がその後の体型に非常に大きな影響を及ぼし、幼児期の肥満対策は小児肥満のみならず小児期からの成人病対策において極めて重要な地位を占めることが明らかになった。今回は、より効果的な幼児肥満対策指針を得る目的で、幼児期に外来肥満指導を受けた幼児の家庭生活について調査した。その結果、肥満幼児の食事や間食の嗜好は、同年齢の保育園児や幼稚園児と比べて差がなく、むしろ母親の方に甘い物を好む傾向が見られた。肥満幼児の家庭においては、献立や間食の与え方に食事指導効果の影響が見られたが、父親の協力を得るまでには至っていなかった。肥満幼児の運動量は非肥満児に比べて劣っておらず、この時期における食事および間食の与え方が肥満の治療のみならず予防においても極めて大切であると思われた。

見出し語：幼児肥満、肥満指導、食生活の変化、遊び

【緒言】平成元年度および2年度は「幼児肥満治療効果とその後の経過」と「就学前児童の体型変化と学童肥満の関係」について検討した^{1,2)}。

そして、①幼児肥満の治療効果は、約10年後に約半数(14/27)に肥満の改善が認められた。②肥満の改善は治療期間中よりもその後の期間において著明であった。③幼児肥満の改善をみた群のほうに、食生活や日常生活面で安定している傾向が見られた。このことから幼児の肥満治療においては、性急な肥満の改善を旨とすることよりも、小児の食生活を中心とした生活環境の整備や健康意識の植え付けなど、息の長い地道なキャンペーンが

より大切であると思われた¹⁾。

また、平成2年度の結果では、幼児期の体型が学童期の体型と相関することが示され、3歳から小学校入学時までの肥満の進行が、その後の学童期の肥満の予後と大きく関係することが明らかにされた。さらに小6時の肥満度は中学校で大きく変化することが分かった。すなわち、体型の変化しやすい幼児期および思春期が、肥満の予防と治療にとって極めて重要であるという結論を得た²⁾。

そこで、今回、幼児肥満指導の家庭生活に及ぼす影響をみる目的で、われわれの肥満児外来を受診し、肥満の食事指導を受けた幼児の生活調査を

*京都府立医科大学小児科 (Dept. of Pediatrics, Kyoto Prefectural University of Medicine)

**京都女子大学児童保健学 (Dept. of Child Health, Kyoto Women's University)

実施した。あわせて、京都市内の某保育園および幼稚園の園児の生活調査の結果と比較検討した。

【対象】

I群：京都府立医科大学小児科肥満児外来に通院中の単純性肥満幼児32例（男児17名，女児15名）のうち，聞き取り調査とアンケート調査に応じた19例（男児9名，女児10名）。

II群：京都市内某保育園でアンケート調査に応じた園児51例（男児29名，女児22名）。

III群：京都市内某幼稚園でアンケート調査に応じた園児208例（男女各104名）。

【方法】

上記のI，II，III群間で，以下の項目について比較検討した。①対象児の体型と母親の体型，②味覚の好みに関する母子の一致率，③献立ベスト3（幼児の好む献立と母親のよく作る献立），④間食の提供方法，⑤間食内容（ベスト3），⑥食事に要する時間，⑦共食状況，⑧調理時間，⑨油脂を用いた調理の好き嫌いと使用頻度，⑩調理担当者，⑪調理担当者不在時の調理の有無，⑫調理担当者不在時の調理担当者，⑬調理担当者不在時の食事方法，⑭献立の留意点，⑮帰宅後の遊びについて，⑯お稽古ごと，⑰お手伝い，⑱子どもの健康に対する留意点，⑲母親の就業状況。

【結果】

①対象児とその母親の体型を表1に示す。I群の対象児の平均肥満度は男児63.5%，女児41.5%で，幼児としては高度の肥満の者が多い。また，I群の母親の肥満度の平均も男児で8.1%，女児で8.8%で，II，III群の母親の平均値がいずれもマイナスであることと際立った差がみられた。II，III群の対象児の平均肥満度は全国平均値と大きな

偏りはない。

②母子間の味覚の一致率をみたのが表2である。最も注目されるが，甘味に対する好きの一致率がI群母子で高い点である。甘味にたいして子どもが好きで母親が嫌いと答えたのはII，III群で高く，概して子どもは甘い物が好きであるが，I群の母親で甘味の嗜好が強いことが母子間の高い一致率をもたらしたものと思われる。一方，I群の母子では辛味と塩辛味に対する嫌いの一致率が3群中で最も高くなっていた。

③献立のベスト3を，幼児の好みの面からと母親の実際の献立とから調査した結果が表3である。カレー，ハンバーグ，スパゲッティが子どもたちが好む献立ベスト3である。I群の母親の献立は焼魚，サラダ（生野菜）が上位を占めるのに対し，II，III群の母親の献立ではカレーと煮物が上位となっていた。

④間食の与え方は，I～III群に共通して「買い置き」（親）の割合が一番多かった。I群で「手作りおやつ」を与えない親が47.4%と高いこと，II群ではいずれの項目においても「回答無し」が多いこと，I，III群で「買い食い」させない親が多いことなどが注目される（表4）。

⑤間食の内容をみると（表5），II群とIII群ではスナック菓子，アイスクリーム，あめ・ゼリーがベスト3であるが，I群では「買い置き」「買い食い」のいずれの項目でも，スナック菓子の比率が極端に少ないことが注目に値する。

⑥食事に要する時間は，朝食，夕食ともにI群で短い傾向が見られる（表6）。

⑦共食状況をみると（表7），I群とIII群では朝食，夕食ともに父親の不在が目立つ。一方，家

族全員の夕食は、Ⅱ群で最も高い。

⑧調理時間は、朝食ではⅡ群の15分以内の割合が高く、夕食でもⅡ群で45分以内が多く、Ⅱ群の調理時間の短いのが目立つ。一方、Ⅲ群が一番調理に時間をかけていることがうかがえる(表8)。

⑨油脂を用いた調理の好き嫌いと使用頻度(品数)の比較を表9に示す。Ⅰ群(肥満群)の母子ともに油濃い食品を好むことがわかる。

⑩調理担当者はⅢ群で母親、Ⅱ群で母親以外の割合が高くなっていた(表10)。

⑪調理担当者が不在時に、調理をすると答えたのはⅡ群で最も多く、「しない」と答えたのはⅢ群が多かった(結果は示さず)。

⑫調理者不在時に調理をする者として、祖母であることが多く、とくにⅠ群では75%に達していた(表11)。

⑬調理担当者不在時の食事方法では、Ⅰ群でインスタント食品、ファーストフードの利用が少ないのが目立った(結果は示さず)。

⑭献立の留意点を質問したが、栄養のバランス、カロリー、塩分、糖分、油脂のいずれの項目においても、Ⅰ群の母親が最もよく留意しているという結果であった(表12)。

⑮子どもたちの帰宅後の遊びについての調査では、Ⅰ群の子どもたちの屋外で遊ぶ割合が高くなっていた(表13)。

⑯帰宅後に遊び以外ですることは、表14に示すようにⅠ群(肥満群)でいずれの項目も高くなっていた。

⑰「お手伝い」は、Ⅲ群の子どもが一番よくしていた。続いてⅠ群、Ⅱ群の順であった(表15)。

⑱子どもの健康の留意点では、食事面でも運動

面でも肥満群であるⅠ群で最も高く、保育園児のⅡ群は「とくになし」が多かった(表16)。

⑲母親の就業状況は、Ⅰ群とⅡ群では無職が過半数を占めていた。フルタイムはⅠ群とⅡ群で差が無かったが、パートタイムはⅡ群で圧倒的に高かった(表17)。

【考察】

小児期からの成人病対策の具体的方針を確立することが本研究班の緊急の課題であるが、非常に難問である。すべての子どもたちに健康教育を徹底していくのが正攻法的なやり方であるが、これでは実効が上がるまでに時間がかかりすぎる。そうかといって、成人病の危険因子を持つハイリスク児を選別するについても、現時点で妙案はない。

私どもは、以前より肥満小児の食事治療に携わってきた経験から、肥満児が非肥満児に比し高脂血症、脂肪肝、糖尿病などの成人病ないしはその準備状況を合併しやすいことを確認している³⁾。したがって、当面、肥満児対策を推し進めることが最も具体的かつ有効な成人病対策に通じるのではないかと思われる。

小児期からの成人病対策を念頭に置いた肥満児対策は、幼児期から始めなければならない。何故なら、幼児期は子どもたちが親から一生のライフスタイルを学びとる大切な時期であり、この時期における食生活をはじめとする生活習慣の偏りが、将来の肥満や成人病の発生に大きく関係するからである。以上のような理由から、われわれは幼児の日常生活に焦点をあてて研究を進めた。

対象児とその母親の体型を表1に示したが、ここで最も注目されるのが、Ⅰ群すなわち肥満児群の母親の平均肥満度である。Ⅱ群、Ⅲ群の母親に

比べ明らかに大きい。今後、小児期の肥満対策や成人病対策を展開するにあたって、幼児の母親が肥満であることが、危険因子の一つとなりうると考えられる。

味覚の好みでは、I群の母児で「甘味の好き」と「辛味および塩辛味の嫌い」の一致率が高値を示した(表2)。これはI群、すなわち肥満児群の母親が甘味を好む率の高いことを示す結果であり、I群の母親が肥満傾向にあったことと考え合わせ興味深い。

子どもたちの好む献立ベスト3はカレー、ハンバーグ、スパゲッティで、I、II、III群ではほぼ共通していた。一方、親の献立は、I群で焼き魚やサラダ(生野菜)が多いのに対し、II、III群では煮物の使用頻度が高いという違いがあった(表3)。このように、肥満児と非肥満児の間で料理の好みに差はないが、母親の献立に差があったことは、肥満児外来での食事指導の影響と考えることもできる。表9でもI群(肥満群)の母子が油濃い調理を好みながら、実際の調理では油脂を避けている様子が見受けられる。

間食の与え方では、I群で手作りおやつを与えない割合が高く、われわれの「おやつは甘味を抑えた手作りのものを与えましょう」という指導が徹底していないことがわかった(表4)。なお、II群で「無回答」が多かったのは、保育園児の場合は間食は園で与えられることが多いため、親が回答できなかったものと思われた。

間食の内容は、II群とIII群ではあめ・ゼリー、スナック菓子、アイスクリームがベスト3となっているが、I群ではスナック菓子を食べる割合がきわめて低くなっており、これは肥満食事指導の

効果ではないかと考えられる(表5)。

食事にかかる時間は、朝食も夕食もI群で短く、「肥満児の早食い」がここでも確認された(表6)。

家族の共食状況はI群とIII群で父親の不在が目立った(表7)。小児肥満の治療において、父親の参加が非常に大切なことは常に指導しているが、その実行は難しいことがわかる。

調理に関しては、3群とも普段は母親が担当し(表10)、調理時間はII群で最も短くなっていたが(表8)、これはII群の母親の就業率の高さ(表17)と関係していると思われる。I群では調理担当者不在時の調理を祖母が担当することが多いが(表11)、このことは祖母の同居と肥満児発生との因果関係の存在を疑わせる。また、調理担当者不在時、I群ではインスタント食品やファーストフードの使用が他の2群に比べて少ないが、これは肥満食事指導の効果がでていているものと思われる。さらに献立の留意点についても、I群で最も高い配慮がみられ(表12)、食事指導効果の現われとみなすことができる。

戸外の遊びはI群で多く、遊び以外のクラブ、おけいこ、塾に通う割合もI群で高くなっていた。つまり、幼児期の肥満児が決して非活動的な日常生活を送っているわけでないことがわかる(表13、14)。

【まとめ】

肥満児外来で食事指導を受けた幼児の家庭生活を、同年齢の保育園児と幼稚園児のそれと比較したが、子どもたちの方の食事や間食の嗜好に大きな差はなく、むしろ親の方に差が見られた。

また、肥満食事指導の影響は献立や間食の与え方に確実に認められ、母親は母親なりに努力して

いる様子がうかがえた。ただし、共食状況においてI群(肥満児群)の父親の共食が少なく、肥満児指導効果は父親まで及び難いことがわかった。

幼児期の肥満児は、非肥満児に比べて運動量が決して少ないわけではなく、したがって、幼児期における食事および間食の適切な指導は肥満の治療のみならず予防においても極めて大切であると思われた。

【文献】

1)衣笠昭彦ら：幼児肥満の治療効果とその後の経

過—背景調査。厚生省心身障害研究，小児期からの慢性疾患予防対策に関する研究，平成元年度研究報告書，pp.97-102，平成2年3月。

2)衣笠昭彦ら：就学前児童の体型変化と学童肥満の関係。厚生省心身障害研究，小児期からの慢性疾患予防対策に関する研究，平成2年度研究報告書，pp.37-41，平成3年3月。

3)衣笠昭彦：小児肥満。小児にみられる成人病。Pharma Medica，9：29~34，1991。

表1 対象児とその母親の体型について

| | | 対象児 | | | 母親 | | |
|------|----|-----|-------|-------|-----|------|-------|
| | | N | 平均値 | 標準偏差 | N | 平均値 | 標準偏差 |
| I群 | 男児 | 8 | 63.5% | 21.7% | 8 | 8.1% | 26.7% |
| | 女児 | 10 | 41.5 | 13.1 | 10 | 8.6 | 16.6 |
| II群 | 男児 | 17 | 2.3 | 13.1 | 27 | -7.3 | 12.6 |
| | 女児 | 16 | 3.3 | 11.7 | 20 | -3.7 | 12.3 |
| III群 | 男児 | 90 | 0.2 | 6.8 | 99 | -6.4 | 9.7 |
| | 女児 | 94 | 1.9 | 9.8 | 101 | -5.9 | 10.9 |

表3 献立ベスト3の比較
(幼児の料理の好みと母親のよく作る献立)

| | I群 | II群 | III群 |
|---|-----------|-----------|-----------|
| 好 | ①カレー | ①カレー | ①カレー |
| | ハンバーグ | ②ハンバーグ | ②ハンバーグ |
| き | ③スパゲッティ | ③鶏唐揚げ | ③スパゲッティ |
| 嫌 | ①サラダ(生野菜) | ①特になし | ①サラダ(生野菜) |
| | 野菜煮物 | ②野菜煮物 | ②特になし |
| い | ③酢のもの | ③サラダ(生野菜) | ③酢のもの |
| よ | ①焼き魚 | ①カレー | ①カレー |
| く | サラダ(生野菜) | ②野菜煮物 | ②煮物 |
| 作 | ③カレー | 肉じゃが | ③ハンバーグ |
| る | ハンバーグ | | |
| | 野菜炒め | | |

表2 味覚の好み(母と子ども的一致率と不一致率)

| 母 | 対象児 | 甘味 | | | 甘辛味 | | | 酸味 | | | 辛味 | | | 塩辛味 | | |
|----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | I群 | II群 | III群 | I群 | II群 | III群 | I群 | II群 | III群 | I群 | II群 | III群 | I群 | II群 | III群 |
| 好き | 好き | 63.2 | 33.3 | 46.2 | 36.7 | 39.2 | 59.1 | 15.8 | 25.5 | 31.7 | 5.3 | 7.8 | 6.7 | 0.0 | 9.8 | 13.9 |
| | 嫌い | 10.5 | 0.0 | 2.4 | 21.1 | 9.8 | 8.2 | 47.3 | 15.7 | 28.4 | 15.8 | 17.6 | 26.4 | 5.3 | 7.8 | 11.5 |
| 嫌い | 好き | 10.5 | 31.4 | 27.9 | 15.8 | 5.9 | 5.3 | 0.0 | 9.8 | 5.3 | 5.3 | 2.0 | 1.0 | 26.2 | 7.8 | 11.1 |
| | 嫌い | 10.5 | 15.7 | 3.8 | 21.1 | 25.5 | 8.7 | 31.6 | 29.4 | 15.9 | 68.3 | 53.0 | 46.2 | 63.2 | 55.0 | 42.3 |
| 無 | 回答 | 5.3 | 19.6 | 19.7 | 5.3 | 19.6 | 18.8 | 5.3 | 19.6 | 18.8 | 5.3 | 19.6 | 19.7 | 5.3 | 19.6 | 21.2 |

表4 間食状況

| | 買い置き(親) | | | 買い食い(子) | | | 手作り(親) | | |
|--------|---------|------|------|---------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | I群 | II群 | III群 | I群 | II群 | III群 | I群 | II群 | III群 |
| 与えない | 5.3% | 7.8% | 1.9% | 78.9% | 56.9% | 69.2% | 47.4% | 47.1% | 34.6% |
| 週1回未満 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 5.3 | 7.8 | 13.9 | 31.6 | 25.5 | 28.4 |
| 週1~2回 | 26.3 | 11.8 | 7.2 | 10.5 | 11.8 | 10.1 | 15.8 | 7.8 | 26.9 |
| 週3~4回 | 15.8 | 31.4 | 26.4 | 0.0 | 5.9 | 2.9 | 0.0 | 5.9 | 6.3 |
| 週5~6回 | 15.8 | 15.7 | 34.1 | 0.0 | 3.9 | 1.4 | 0.0 | 2.0 | 0.5 |
| ほとんど毎日 | 36.8 | 11.8 | 24.5 | 5.3 | 0.0 | 0.5 | 5.3 | 0.0 | 0.0 |
| 無回答 | 5.3 | 21.6 | 4.8 | 0.0 | 13.7 | 1.9 | 0.0 | 11.8 | 3.4 |
| 週平均(回) | 4.6 | 3.8 | 4.9 | 0.5 | 0.8 | 0.4 | 0.7 | 0.6 | 0.8 |

表5 間食内容の比較(ベスト3)

| | 買い置き(親) | | | 買い食い(子) | | | 手作り(親) | | |
|-------------|---------|------|------|---------|------|------|--------|------|------|
| | I群 | II群 | III群 | I群 | II群 | III群 | I群 | II群 | III群 |
| アイスクリーム類 | 20.0 | 13.2 | 6.2 | 41.7 | 14.3 | 15.9 | 5.0 | 4.3 | 0.9 |
| あめ・ゼリー | 18.2 | 11.6 | 13.4 | 33.3 | 28.6 | 29.3 | 15.0 | 2.1 | 3.5 |
| 牛乳・乳製品 | 16.4 | 11.6 | 8.8 | 0.0 | 5.7 | 2.4 | 5.0 | 4.3 | 3.5 |
| ビスケット・クッキー | 9.1 | 9.1 | 11.0 | 8.3 | 5.7 | 4.9 | 5.0 | 10.6 | 10.4 |
| 果物 | 7.3 | 13.2 | 7.9 | 0.0 | 0.0 | 1.2 | 0.0 | 6.4 | 7.6 |
| せんべい類 | 7.3 | 8.3 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 1.8 | 0.0 | 0.0 | 0.9 |
| シュークリーム・プリン | 7.3 | 4.1 | 4.3 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 10.0 | 17.0 | 10.7 |
| 清涼飲料 | 5.5 | 4.1 | 2.2 | 8.3 | 14.3 | 12.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| スナック菓子 | 3.6 | 18.2 | 21.7 | 0.0 | 25.7 | 21.3 | 0.0 | 4.3 | 1.3 |
| 果実ジュース | 3.6 | 2.5 | 2.4 | 0.0 | 5.7 | 1.2 | 0.0 | 6.4 | 3.2 |
| パン類 | 1.8 | 0.8 | 5.9 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 10.0 | 2.1 | 4.7 |
| ケーキ類 | 0.0 | 2.5 | 1.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 12.8 | 30.6 |
| 和菓子 | 0.0 | 0.8 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 12.8 | 5.0 |
| 即席めん | 0.0 | 0.0 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| おにぎり | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 15.0 | 10.6 | 9.1 |
| その他 | 0.0 | 0.0 | 2.8 | 8.3 | 0.0 | 7.9 | 15.0 | 6.4 | 8.5 |

表6 食事に要する時間

| 摂食時間 | 朝食 | | | 夕食 | | |
|--------|------|------|------|------|------|------|
| | I群 | II群 | III群 | I群 | II群 | III群 |
| 10分未満 | 5.3 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 10~20分 | 47.4 | 37.3 | 36.1 | 5.3 | 0.0 | 2.0 |
| 20~30分 | 42.1 | 33.3 | 44.7 | 21.1 | 3.9 | 15.9 |
| 30~40分 | 0.0 | 17.6 | 16.3 | 42.1 | 47.1 | 52.4 |
| 40分以上 | 0.0 | 2.0 | 1.0 | 26.3 | 37.2 | 28.8 |
| 無回答 | 5.3 | 9.8 | 1.0 | 5.3 | 11.8 | 1.0 |
| 平均(分) | 16.9 | 19.7 | 19.8 | 32.5 | 38.9 | 33.7 |

表7 共食状況

| | 朝食 | | | 夕食 | | |
|--------|------|------|------|------|------|------|
| | I群 | II群 | III群 | I群 | II群 | III群 |
| ひとりで | 0.0 | 5.8 | 8.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 兄弟と一緒に | 15.8 | 21.6 | 11.5 | 0.0 | 3.9 | 1.0 |
| 父親不在 | 31.6 | 21.6 | 45.2 | 42.1 | 21.6 | 51.0 |
| 母親不在 | 15.8 | 2.0 | 6.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 家族全員で | 21.1 | 29.4 | 26.0 | 47.3 | 56.9 | 47.1 |
| その他 | 10.5 | 9.8 | 0.5 | 5.3 | 7.8 | 0.0 |
| 無回答 | 5.3 | 9.8 | 1.9 | 5.3 | 9.8 | 1.0 |

表8 調理時間

(%)

| 調理時間 | 朝食 | | | 夕食 | | |
|-------|------|------|------|------|------|------|
| | I群 | II群 | III群 | I群 | II群 | III群 |
| 15分以内 | 57.9 | 76.5 | 55.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 30分以内 | 26.3 | 17.6 | 43.3 | 21.1 | 13.7 | 11.5 |
| 45分以内 | 5.3 | 0.0 | 0.5 | 26.3 | 47.1 | 17.8 |
| 60分以内 | 0.0 | 2.0 | 0.5 | 36.8 | 33.3 | 43.3 |
| 75分以内 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 5.3 | 2.0 | 2.4 |
| 76分以上 | 0.0 | 0.0 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 21.6 |
| 無回答 | 10.5 | 3.9 | 0.0 | 10.5 | 3.9 | 0.5 |
| 平均(分) | 21.2 | 18.7 | 18.2 | 48.5 | 48.4 | 62.1 |

表9 油脂を用いた調理の好き嫌い和使用頻度

(%)

| 調理 | 母親 | | | 子ども | | |
|------|------|------|------|------|------|------|
| | 好き | 嫌い | よく作る | 好き | 嫌い | |
| I群 | 油(+) | 61.5 | 36.8 | 52.2 | 91.7 | 17.2 |
| | 油(-) | 25.6 | 57.9 | 28.3 | 2.1 | 65.5 |
| | その他 | 12.8 | 5.3 | 19.6 | 6.3 | 17.2 |
| II群 | 油(+) | 59.3 | 44.0 | 57.0 | 74.0 | 21.4 |
| | 油(-) | 30.8 | 40.0 | 33.7 | 18.3 | 57.1 |
| | その他 | 9.9 | 16.0 | 9.3 | 7.7 | 21.4 |
| III群 | 油(+) | 41.4 | 44.4 | 55.5 | 73.5 | 27.5 |
| | 油(-) | 40.8 | 27.8 | 35.7 | 17.2 | 46.4 |
| | その他 | 17.8 | 27.8 | 8.8 | 9.3 | 26.0 |

表10 調理担当者

(%)

| 調理担当者 | 朝食 | | | 夕食 | | |
|-------|------|------|------|------|------|------|
| | I群 | II群 | III群 | I群 | II群 | III群 |
| 母親 | 94.7 | 86.3 | 96.6 | 84.2 | 82.4 | 98.6 |
| 母親以外 | 0.0 | 5.9 | 3.4 | 5.3 | 7.8 | 1.0 |
| 無回答 | 5.3 | 7.8 | 0.0 | 10.5 | 5.9 | 0.5 |

表11 調理者不在時の調理担当者

(%)

| 調理者 | I群 | II群 | III群 |
|-----|------|------|------|
| 祖母 | 75.0 | 48.4 | 54.9 |
| 父親 | 16.7 | 32.2 | 38.0 |
| 子ども | 0.0 | 6.5 | 5.6 |
| その他 | 8.3 | 12.9 | 1.4 |

表12 献立の留意点

(%)

| 留意点 | I群 | II群 | III群 |
|---------|------|------|------|
| 栄養のバランス | 63.2 | 72.5 | 42.3 |
| カロリー | 31.6 | 2.0 | 0.5 |
| 塩分 | 26.3 | 7.8 | 9.1 |
| 糖分 | 21.1 | 7.8 | 2.4 |
| 油脂 | 5.3 | 3.9 | 1.4 |
| 無回答 | 0.0 | 2.0 | 0.5 |

(複数回答)

表13 実際の遊び場所

(%)

| | I群 | II群 | III群 |
|-------|------|------|------|
| 屋外が多い | 42.1 | 9.8 | 38.2 |
| 屋内が多い | 15.8 | 21.6 | 17.9 |
| 半々くらい | 31.6 | 33.3 | 43.3 |
| 無回答 | 15.5 | 35.3 | 0.5 |

表14 帰宅後あそび以外ですること
(%)

| | I群 | II群 | III群 |
|---------|------|-----|------|
| スポーツクラブ | 31.6 | 5.9 | 8.2 |
| おけいこ | 26.3 | 9.8 | 16.8 |
| 学習塾 | 5.3 | 2.0 | 1.9 |

(複数回答)

表15 お手伝い
(%)

| | I群 | II群 | III群 |
|-------|------|------|------|
| 買い物 | 26.3 | 9.8 | 30.3 |
| 掃除・洗濯 | 15.8 | 13.7 | 24.0 |
| 食卓 | 68.4 | 51.0 | 82.2 |
| 犬の散歩 | 5.3 | 5.9 | 2.9 |
| その他 | 10.5 | 5.9 | 19.2 |

(複数回答)

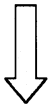
表16 子どもの健康の留意点
(%)

| | I群 | II群 | III群 |
|------|------|------|------|
| 食事面 | 63.2 | 21.6 | 58.4 |
| 運動面 | 63.2 | 2.0 | 14.7 |
| その他 | 26.3 | 13.7 | 25.4 |
| 特になし | 15.8 | 74.5 | 1.5 |

(複数回答)

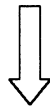
表17 母親の就業状況
(%)

| | I群 | | II群 | III群 |
|--------|------|------|------|------|
| | 初診時 | 現在 | | |
| フルタイム | 5.3 | 15.8 | 15.7 | 1.4 |
| パートタイム | 0.0 | 10.5 | 41.7 | 10.1 |
| 自営 | 0.0 | 5.3 | 15.7 | 8.2 |
| 無職 | 78.9 | 57.8 | 19.6 | 64.4 |
| その他 | 0.0 | 5.3 | 3.9 | 13.5 |
| 無回答 | 15.8 | 5.3 | 3.9 | 2.4 |



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:これまで2年間の研究から,幼児期の肥満の予後がその後の体型に非常に大きな影響を及ぼし,幼児期の肥満対策は小児肥満のみならず小児期からの成人病対策において極めて重要な地位を占めることが明らかになった。今回は,より効果的な幼児肥満対策指針を得る目的で,幼児期に外来肥満指導を受けた幼児の家庭生活について調査した。その結果,肥満幼児の食事や間食の嗜好は,同年齢の保育園児や幼稚園児と比べて差がなく,むしろ母親の方に甘い物を好む傾向が見られた。肥満幼児の家庭においては,献立や間食の与え方に食事指導効果の影響が見られたが,父親の協力を得るまでには至っていなかった。肥満幼児の運動量は非肥満児に比べて劣っておらず,この時期における食事および間食の与え方が肥満の治療のみならず予防においても極めて大切であると思われた。